グリーンたいむ

2015-9月
vol. 177

発行：グリーンコープ生活協同組合くまもと
http://greencoop-kumamoto.jp/

グリーンズカフェ（秋の組合員のつどい）開催中！

10月17日（土）まで開催しています。
みなさんふるってご参加ください。

各地域本部のテーマは

県　北：「来て見てふれあう　グリーンズカフェ」

県央東：「つどおう★たのしもう★ 私が主役のグリーンコープ」

県央西：「地域にとびだせ　グリーンコープの輪を広げよう!!」

県　南：「みんなで食べよう！話そう！グリーンズカフェ」

詳しくは地区やお店からのチラシ、またはホームページ（http://greencoop-kumamoto.jp/）をご覧ください。

3ヶ所で「まつり」を開催します！

ステージ企画、スタンプラリーなどなど楽しさ満載！

生産者、メーカーも自慢の商品を持ってこられます。

署名のご協力をお願いします！

STOP! GMO

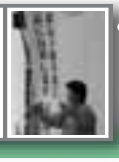
●遺伝子組み換え作物の栽培規制条例の制定
●遺伝子組み換えナタネの定期的な監視・調査

等についての要望書への署名のご協力をお願いします。

熊本県、熊本市、八代市、天草市、宇城市、玉名市、荒尾市、山鹿市、菊池市、合志市、阿蘇市、水俣市、御船町宛の要望書があります。熊本県宛、および、お住まいの市町宛の両方の署名用紙に署名ください。

9月5日（土）街頭署名活動を行いました

熊本市下通り商店街にて



八代市よかとこ物産館前にて

テレビCM放映中

生産者やメーカーのみなさんに出演いただいています！組合員、ワーカー、職員も出演しています！

30秒バージョン
- 生産者ネットワーク
- 商品
- 利用方法

15秒バージョン
- なるほど編／生産者ネットワーク1
- なるほど編／生産者ネットワーク2
- なるほど編／商品
- なるほど編／利用方法
- なるほど編／配送

上通りWAO！VISION！でも配信！
グリーンコープ生協くまもとのホームページでも配信中！

もくじ

グリーンズカフェ、まつり、テレビCM案内、他…… 1
夏休み企画…… 2
共生・平和長崎自転車隊…… 3
連載　地域本部シリーズ
県南地域本部…… 4～5
せっけんシャンプー・リンス ピュアシリーズ新登場、他… 6
東日本大震災支援活動、あなたの町のワーカーズ、利用普及推進委員会より…… 7
おしゃべりたいむ、GCくまもと独自品…… 8

※わたしのグリーンコープ運動※

日本一安心なグリーンコープ

県北地域本部
単協理事
田村　博子

関東から熊本に来て、はや10年。来たばかりの頃、なんて九州はおいしいものがたくさんあって、安くていい所なんだろうと思っていました。母も、コープが好きでよく「生協に買い物に行ってくるね」と出かけていました。でも、そのコープとグリーンコープは、全然別のものと知ってびっくりしました。

グリーンコープの活動に関わるようになり、グリーンコープのものがいかに厳しい検査を受けて、安心・安全なものであるかを知って、ますます九州が大好きになりました。

一人ひとりができることは小さいけれど、地球に優しいこと、未来の子どもたちに、少しでもよりよい自然を残してあげたいという想いで、今日も注文書とにらめっこして、せっせと〝1〟をつけています。

見て、聞いて、体験した夏休み

４つの地域本部で、グリーンコープならではの親子企画を開催しました。
普段なかなかできない体験をして、夏休みの思い出の１ページを刻んだ
子どもたち。各取り組みの様子をピックアップしてお届けします。

7/31「松合食品＆サンファームへ行こう！」

県央西 アクア地区・金峰地区合同主催

松合食品はグリーンコープの醤油・味噌を作っているメーカーです。近年、脱脂加工大豆で作る醤油が多くなっている中、松合食品では大豆そのままを使って、昔ながらの醤油造りをされています。当日は50名が参加し、味噌・醤油の歴史から原料や製造法などについての興味深い話を聞き、その後工場内を見学しました。大きな醤油タンクを見たり、もろみを櫂棒（かいぼう）で混ぜたりする貴重な体験をしました。

松合食品の醤油を長年愛用している参加者からは「安い醤油などが出回っているが、松合さんには、単価が高くなっても良いものを作り続けてほしい」との感想がありました。

帰りに、産直たまご生産者サンファームのお店に立ち寄り、買い物を楽しみました。

8/7「子どもに伝えたい平和の学習会」

県北 県北地域本部主催 和水町中央公民館にて

松岡 紀代子さん
元小学校教諭。小学校などで、紙芝居を使って子どもたちに平和を訴える講演活動を展開されている。

松岡紀代子さんを講師に迎え、平和学習会を開催。小中学生の親子約80名が参加しました。松岡さんは、ご自身の戦争体験と硫黄島で戦死した父親に対する思いを、自作の紙芝居『とうちゃんは、いつかえってくる……？』を使って分かりやすく丁寧に、時折子どもたちに問いかける形でコミュニケーションを取りながら話されました。子どもたちも真剣に話を聞き、会場が一体となっていました。

また、防空頭巾の使い方の実演をされたり、父親とのたった１枚の写真、硫黄島の石、アメリカ軍が日本軍に投降を呼びかけた文書の実物などを見せてくださったりしました。

「命はつながっています。その命をつないでいくことが大切。戦争はしたらいかん、ということをみんなに知って欲しい」と締めくくられました。

7/23「わくわくさんの子ども料理教室」

県南 八代東地区主催 太田郷公民館 調理室にて

▲メニュー：魚の味噌煮、香り澄まし汁、野菜のごま和え、牛乳ひなび餅

小学３～６年生の子どもたち８名が参加し、「食育の会わくわく」のワーカーの指導のもと、子どもたち自ら調理をしました。アジを丸ごとおろしたり、昆布とかつおぶしからダシをとったり、豆腐を手の平の上で切ったりと、普段できない体験にどきどきわくわくの様子でした。

参加した子どもからは「他の教室では危ないからと、させてもらえないことも、今回はさせてもらえたので嬉しかった」、保護者からは「煮魚が苦手で食べなかった子どもが、自分で作ったからか、美味しそうに食べていた」などの感想がありました。

7/18 元気館しみず「夏まつり」

県央東 しみず店主催

オープニングには元気くんが登場し、子どもたちと元気くん体操で盛り上がりました。お菓子を凍らせた氷柱の周りには子どもたちが集まり、氷の中のお菓子を取ろうとがんばっていました。また、スーパーボールすくいやヨーヨー釣りも大盛況でした。組合員による手作り品や、子ども服のリサイクル品を販売する店もあり、組合員同士会話も弾んでいました。

ぺぺぺぺらんの店内で開催された手遊びや絵本の読み聞かせには、たくさんの親子連れが集まり、楽しいひと時を過ごされていました。

お店のワーカーズ手作りの惣菜や組合員手作りの軽食の販売もあり、組合員や地域の方などたくさんの人で賑わいました。

グリーンコープでは、毎年、平和の取り組みのひとつとして、共生・平和長崎自転車隊「平和のつどい」を実施しています。今年も猛暑の中、くまもとからも10人の中学生が、福岡県柳川市から爆心地長崎市までの125㎞を自転車で走りました。また、応援隊（スタッフ含む）約40人が、沿道から熱い声援を送りました。

長崎に原爆が投下されてから今年で70年。その事実は年とともに風化し、戦争を知らない世代が大半を占めている今だからこそ、平和について考えるよい機会として、大切な取り組みとなっています。

銀輪隊に参加した10人の中学生と、応援隊に参加した組合員２人の感想をお届けします。

銀輪隊・・・・・組合員の子ども（中学生）が、柳川から長崎までの全行程を自転車で走る。
自転車隊・・・組合員とその家族で、自転車に乗れる人が、一部区間を自転車で走る。

銀輪隊に参加して

この活動に参加して、僕は熱中症で完走できませんでした。でも、それを支えて下さった方に感謝したいです。
中３　中村 康太郎

私は銀輪隊に参加して、戦争について改めて考えました。この経験をたくさんの人に広げていきたいです。
中３　下飛田 百音

１日目の坂もきつかったですが、２日目の日見峠はどこまで続くかと分からなかったけど、足をつかずに登りきりました。
中１　下飛田 心菜

去年より疲れましたが、いろんな人に会えたり話せて楽しかったです。それから、牛乳がとてもおいしかったです。
中２　辻 日月

今回初めて参加しました。暑くてきつかったですが、今ある尊い平和についてしっかり考えることができました。
中３　宇野 旭

２回目の参加でした。昨年は台風で断念した日見峠越えができ、１25㎞完走できて嬉しかったです。
中２　北島 涼真

私は共生・平和銀輪隊に参加した１日目に、熱中症になってしまったので、来年リベンジしたいと思います。
中１　安井 智絵

私は初めて銀輪隊に参加しました。中学校最後の夏休みが充実し、改めて平和の大切さを学べて良かったです。
中３　安井 萌絵

仲間と声をかけ合いながらゴールすることができ、今の時間が平和なんだと実感することができました。
中２　植田 夏帆

仲間と声をかけ合いながら共に行くことは大切だと、そしてなにより平和が一番だなあと思いました。
中１　植田 悠斗

応援隊に参加して（日帰り応援隊）

厳しい暑さの中、不戦の文字を背負い、子どもも大人も汗びっしょりで、平和公園を目指しました。走る人、伴走する人、スタッフ等、参加する人みんなが誰かのことを想っている様子が目や耳、心に響いてきて胸が熱くなりました。

最後は、みんなで平和を願って、折り鶴と祈りを捧げてきました。

県央西地域本部　岡部 純子

応援隊に参加して（銀輪隊保護者）

中３で初参加した長男は、仲間と一緒に不戦への想いをひとつにして懸命に自転車を漕ぎ進めました。８月９日、毎年テレビに映し出されるあの場所で自分たちの目や耳、心で平和の尊さを感じることができました。

銀輪隊の無事のゴールが、平和の証のように思えました。

県央東地域本部　宇野 菊代

爆心中心碑に折り鶴を奉納する子どもたち

頑張る子どもたちに沿道から声援を送る応援隊

県南です！ 元気に楽しく!! 様々なグリーンコープ活動を頑張っています!!

センターとキープ&ショップ

グリーンコープ生協くまもとは、熊本県内を県北、県央東、県央西、県南の4地域に区分し、それぞれに地域本部を設置しています。
4つの地域本部それぞれには、管轄センターやキープ&ショップ、お店（県南を除く）、福祉施設があります。今年度は4つの地域本部について、シリーズで紹介していきます。

第3弾は、熊本県の南部に位置し、水俣や人吉を含む県南地域本部です。

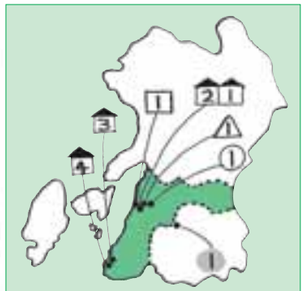
県南地域常務
北島　修

県南地域本部は1地域本部に1センターということで、とてもわかりやすいのですが、エリア的には範囲が広いということが特徴です。登録組合員数は6，061名（7月11日現在）。1年前に、それまで利用できなかった人吉市にキープ&ショップを開設しました。地域の状況としてはなかなか厳しいところはありますが、秋からの「打って出る」取り組みで、利用される組合員を増やしていくことに取り組んでいきます。地域で開催されるイベントにも積極的に参加していきます！

県南地域理事長
重野　美樹

県南地域本部は八代郡市、芦北、水俣、人吉と広範囲のエリアです。登録組合員数、地区の数はくまもとの中では1番少ないですが、少ないからこその利点を活かし、一致団結し、フットワーク軽く活動しています。
また、県南にはグリーンコープが取り組む住民自治運動における県内唯一の代理人が八代にいます。様々な場面で一緒に活動しています。
地域本部としては、11月15日に開催するまつりに向けて、組合員、職員、ワーカーズが力を合わせて、県南らしい楽しいまつりになるように準備を頑張っています。

地域理事会の様子（地域理事13名　8月28日現在）



① 県南センター
① 手とテとて
1 スイートカフェ・まーぶる
⚠ パセリ
🏠 ほのか・八代
🏠 ゆるりの家・八代
🏠 ゆるりの家・水俣
🏠 ほのぼの・水俣

県南地域本部には5つの地区があります

★八代東地区　★八代西地区
★八代南地区　★八代北地区
★水俣芦北地区

子育てをサポート

子育てサークル

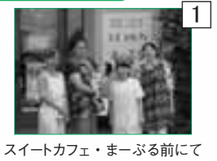
就学前の子どもがいる組合員が集まって自主的に子育てサークルを作り、子育てについて学び、活動しています。
県南地域本部には、八代エリアに「かっぱくらぶ」、水俣芦北エリアに「エンジェルキッズ」の子育てサークルがあります。（福祉活動組合員基金より活動費を助成）

コミュニティカフェ

スイートカフェ・まーぶる

八代市内の閑静な住宅街に、地域の人々が集まって話し合い元気になれる場所として2013年にオープン。絵画などのアート作品展示や、習字など各種教室も開催。グリーンコープ商品で作ったランチは、お手頃価格でとても美味しいと評判です。
「小さなお子さん連れのグループなどのリピーターも増え、居場所作りとしての目的は十分果たしていると思います。地域の拠点としてもっと多くの人に利用してもらえるよう、知恵を絞っています。また、ずっと続けていけるよう運営を担う人を育て、繋いでいきたいと思います」と、代表の佐枝さん。現在スタッフ7名で運営しています。

ランチの一例


スイートカフェ・まーぶる前にて

配食サービス

社会福祉法人グリーンコープ 配食サービス パセリ

食事作りに困っている高齢者、障がい者等の世帯に生活支援としての配食サービスを行っています。グリーンコープの商品や地元の新鮮な食材を使って手作りし、出来たてを届けています。栄養士が栄養バランスを考えて献立を決めるので、「パセリのお弁当にしたら血液検査の数値が改善した」という声も。
配達時の安否確認も大切な役割になっています。
月曜日から土曜日までの昼食と夕食合わせて、1日あたり約280食を配達しています。現在スタッフ25名で運営しています。

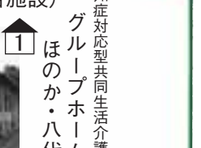
弁当を作るワーカー

パセリ前にて

高齢者福祉

認知症対応型共同生活介護 グループホーム ほのか・八代
通所介護 デイサービスセンター ゆるりの家・八代
福祉センター八代（複合施設）

「ほのか・八代」
定員は9名。入居された方のこれまでの生活を大切にしながら、状態に応じて料理、洗濯などの家事を一緒に行っています。行事等は利用者の声をもとに決め、楽しい生活ができるよう努めています。
「ゆるりの家・八代」
定員は15名。利用者の方が最後まで我が家で自分らしく暮らしたいと思う気持ちを大切にし、福祉センター八代内の全事業所で連携しながら支援しています。また機能訓練に力を入れており、生活リハビリの一環として一人暮らしの買い物訓練等を行っています。3事業所合同で地域の方を対象に、サロン（手芸・料理・脳トレ教室等）を開催しています。
同施設内に訪問介護事業所「ふくしサービスセンターそよ風」があります。



通所介護 デイサービスセンター ゆるりの家・水俣

定員は1日14名。小規模のデイサービスです。ご利用者の意思と居心地を大切に、お一人お一人に寄り添った支援をしています。毎月1回開催の「日曜カフェ」には地域の方にも来ていただき、交流の場となっています。これからも地域の皆様に親しまれるデイサービスセンターであり続けたいと思います。

小規模多機能型居宅介護 小規模多機能ホーム ほのぼの・水俣

登録定員29名、通い定員1日15名、宿泊定員1日7名。24時間365日、「通い」を中心として「宿泊」、「訪問」のサービスを行っています。サービスの内容はその都度変更可能です。また、四季折々に合わせた行事等を準備し、春にはバラ園へ出かけたりしています。
同施設内に居宅介護支援事業所「ケアプランセンター水俣」があります。

水俣市内に訪問介護事業所「ふくしサービスセンターおおきな木」があります。

キープ&ショップ人吉「手とテとて」

店内にて

「手とテとて」前にて

配送業務は、職員と労働協同組合レインボー（ワーカーズ）で行っています。労働協同組合レインボー（ワーカーズ）は、「キープRAINBOW絆」の運営も担っています。
キープ&ショップは、「県南センターキープ&ショップ（キープRAINBOW絆）」と「キープ&ショップ人吉（手とテとて）」があります。

キープRAI NBOW絆にて

県南センター

レインボー県南ステーションは、県南センターの6割のシェアの共同購入を担っています。男性1名、女性16名で互いに叱咤激励しながら毎日の業務に努めています。キープ&ショップでは、〝地域に根差す〟をモットーに、色々なイベントに参加してグリーンコープを広めることに力を注いでいます。今年度、担当力アップに力を入れ、学習会を取り入れた会議を行っていきます。組合員満足度アップに繋げるために切磋琢磨し頑張っていきます。
（県南ステーション代表　深田　照代）

人吉でもグリーンコープの商品を手に入れたいと願うお母さんたちが中心となって設立しました。今年で2年目に入り、キープ&ショップの運営に加え、グリーンコープ商品を使ったランチを提供したり、子育て支援企画や地域の方々が参加できる催しを定期的に行ったり、内容も充実してきました。
「子育て中のお母さんは、受け止めてくれる場所がないと孤立してしまいがちなので、ここが受け止める場所になれるように頑張っている。地域の高齢者とも繋がり、より地域に根差した場所になればと思う。また、一緒に運営してくれる仲間も増やしていきたい」と代表の郷さん。
現在スタッフ3名、サポートスタッフ5名で運営しています。

寄り添った支援を続けています

2011年３月11日の東日本大震災発生から約４年半が経ちました。グリーンコープでは、現地へ出向いての支援活動や交流、ひまわりプロジェクトの取り組みなどを今も継続して行っています。今年度の取り組みを紹介します。

「フクシマ応援　ひまわりプロジェクト」の取り組みを、くまもとは応援しています

くまもとの組合員がたくさんのひまわりを育て、収穫した種を福島に送っています。その種からひまわり油が製造され、売上げは線量の高い地域に住む福島の子どもたちの保養事業に活用されています。

荒尾店のひまわり

ひまわり油

8/4 福島の子どもたちが来熊

ひまわりプロジェクトの一環で熊本を訪れた福島の子どもたちが、合志市や小国町のひまわり畑を見学。くまもとから７名の組合員とその家族が参加し、チョコレート作りなどを行って交流しました。

チョコレート作り

参加者の声

ひまわりの種が繋いだご縁。
出会った子どもたちは元気!! チョコレートワークショップやＢＢＱでは、素敵な笑顔も見えた。一方で「大学進学後、福島に戻り復興に関わりたい」の言葉に、復興はまだ続くことを感じた。

単協理事　竹内 智子

福島と宮城を訪問　6/23〜25

残留放射能測定器（Naiシンチレーション）を寄贈

グリーンコープ共同体の代表として、くまもとからも参加。

測定器はあっても行政の監視下で、本当に測りたいものを測らせてもらえない不安とジレンマを抱えながら南相馬市、伊達市で活動されている団体に、グリーンコープで以前使用していた機械を寄贈することで本当に感謝されていた。福島の現実と被災地の方々の声に耳を傾け支援を続けていくことの大切さを痛感した訪問となった３日間だった。

南相馬・避難勧奨地域の会へ目録を贈呈

単協理事　中村 千暁

東日本大震災支援活動にくまもとから職員３名が参加　6/25〜28

福島県浪江村や富岡町、川内村、宮城県石巻市や亘理地区を訪問し、川内村仮設住宅の草取りや、亘理のトマトの苗の植え付け、蛤浜の牡蠣のロープ結びなどの支援活動を行いました。

利用普及推進委員会より

お母さんに「安心・安全」を届けたい

利用普及推進委員会副委員長
岩本 紀子

私がグリーンコープに出会ったのは、３人目の出産と同時に熊本に戻ってきた頃。１人目の時から食べ物にはこだわっていたけど、なかなか同じ気持ちの人に出会えなかった私にとっては、やっと安心できる場所ができました。数年で引っ越してまたグリーンコープと離れてしまったけど、戻ってきた時には真っ先に加入し、取り組みに参加し、地区委員になり、それから活動を続けてきました。

活動は長くなっても、初めてグリーンコープに出会った頃と気持ちは変わっていません。

今年度から利用普及を率先して進めていく立場になりましたが、食べものの安心・安全だけでなく、それをおすすめすることでお母さんの気持ちにも「安心」を届けられるといいなと思っています。

あなたの町のワーカーズ

労働協同組合マミーしみず店
武藤 美佳

地区での組合員活動を通して、グリーンコープの商品に対するこだわりや、生産者・メーカーの想いなどを学び、グリーンコープの商品がますます好きになり、店舗ワーカーになりました。実際働き始めると、店内の作業以外の業務が多く戸惑いましたが、先輩に支えられ、ワーカー７年目を迎えています。何よりも、よく来店される組合員さんと親しくなれ、何気ない会話で仕事中だということを忘れてしまうこともあります。帰り際に「お疲れ様」と言ってくださる組合員さんもいて、自分の頑張っている姿を認めてもらえているような気持ちになります。

今年のお店のテーマは「お店をテーマパークのようにする」です。笑顔で挨拶・対応し、来店者の方に気持ちよく帰っていただくことが目標です。先達のワーカーが当時１人40万円も出資して小さな「楠マミー」から始まった思い入れのあるお店を、現在のワーカーみんなで盛り上げていきます。

新登場 せっけんシャンプー＆リンス ピュアシリーズ

普通サイズ
500ml
詰替用
450ml

のべ1,000人の組合員モニターの意見をもとに選ばれた、せっけんシャンプー＆リンスピュアシリーズ（シンプルタイプ、リッチタイプ、モアリッチタイプ）が誕生しました。それぞれの特徴と併せて、発売に先駆けて行った学習会の様子と、開発されたユスケー石鹸㈱の工場視察の様子を紹介します。

シンプルタイプ　無香料

男性や子どもにおすすめ。ペットにも使えちゃう！
シャンプー：余分なものは入れないせっけんシャンプーの究極系
リンス：ノンオイル

こんな声が改善されました
髪がきしむ　ごわつく　リンスをしても髪が納まらない

リッチタイプ　スイートフローラルの香り

今までせっけんシャンプーを愛用されている方へ
シャンプー：植物生まれのうるおい成分を配合
リンス：３種の保湿成分を配合

使ってみました
翌朝起きると髪がしっとりサラサラ！
泡立ちも香りもいい！

モアリッチタイプ　フローラルフルーティーの香り

初めてせっけんシャンプーを使う方、ヘアカラーやパーマ等で傷んだ髪の方へ
シャンプー：きしみ改善成分を配合
リンス：６種の保湿成分配合

お試しや旅行に便利な小規格（100ml）もあります

※現在取り扱い中の マークのついたシャンプーとリンスは在庫がなくなり次第終了します。なお、メーカーブランド商品は引き続き取り扱います。

6/30 シャンプー・リンス学習会を開催しました

利用普及推進委員会主催でユスケー石鹸㈱の木曽氏を招いて、実践を交えた形式での学習会を開催しました。参加者たちは、実際の香りや洗い上がりの感触などを確かめました。

シャンプーの実演をされる木曽氏

7/22 ユスケー石鹸㈱川口工場へ視察（共同体主催）

広大な敷地の中、昔ながらの工場で自社のすべての商品をせっけん素地から作られています。日頃は個々で商品開発されていますが、今回のシャンプー・リンスの開発には会社総出で取り組まれたという話はとても印象的でした。

（本部組合員事務局 組織・環境担当　樗木 裕子）

シャンプーを詰めている様子

7/1 ローカル・パワー㈱ 事務所及びカフェ「KaNeL」が小国町宮原にオープン

グリーンコープ生協くまもとと共同で市民電力事業を進めているローカル・パワー㈱の新しい事務所及びカフェ「KaNeL」がオープンしました。７月15日に披露会が開催され、牧理事長、吉村事務局長、北島常務が参加し、交流しました。今後はこの「KaNeL」にて、ローカル・パワー㈱と組合員との交流等を行っていく予定です。

挨拶されるローカル・パワー㈱の宮崎さん（右）と、牧理事長（左）

地域の取り組みに参加
私たち、グリーンコープです！

第38回 火の国まつり「おてもやん総おどり」

昨年に引き続き、今年も組合員、ワーカーズ、職員及びその家族と友人、総勢約100名で参加。２台のキャラバン台車を伴って、明るく元気にグリーンコープをアピールしました。

江津湖花火大会 2015

会場内にイベントブースを出店。雨天のため２日間にわたる開催となり、約500名の方がグリーンコープ商品の試飲をされたり、ガラポン抽選に参加されました。

おしゃべりたいむ

取材先で出会った組合員をご紹介します♪

＊県南地域本部主催の「はじめましての会」でお会いしました。

10年以上前に組合員でしたが、その時は良さが分からず脱退してしまいました。昨年の夏、地区の委員長さんからのお誘いで、再びグリーンコープに出会いました。加入とほぼ同時期に地区委員にもなりました。活動を通してたくさんの個性的で素敵な人に出会い、ふれあうことができ、幸せを感じています。グリーンコープの活動をもっといろんな人に知ってもらいたい、そのために自分にできることがあったら何でもしたいと思っています。

八代東地区
一村 美保さん

「グリーンコープ・グリーン電力出資金」
グリーンコープ生協くまもとの 出資状況

7/11～8/15の間に増えた出資額
▲ 90,000円

累計 93,120,000 円

目標 230,000,000円

おたより募集中です！

掲載分には500グリーン券進呈！

グリーンコープに関することなら何でもOK。お名前と連絡先(電話番号)を明記の上、下記住所の「広報室」までお送りください。FAXでも結構です。

GCくまもと 独自品

くまもとのおいしさを お届けいたします

●申込書提出日：9月28日(月)～10月 3日(土)
●配 達 日：10月12日(月)～10月17日(土)

ご注文は28号注文書で！
特別申込欄に4桁の注文番号をご記入ください。

●ブルーベリーサワー
蘇陽高原産の完熟ブルーベリーを使用。甘さ控えめ。
720g
864.00円(本体価格800円)
9356 スポット

●東アジア共生コーヒー「ラオスの薫り」
ラオス南部のボラベン高原の、標高1100～1300mでコーヒー生産に適した豊かな土壌と気候に恵まれた地域で育てられ、ひと粒ひと粒手摘みで収穫し、丁寧に果肉を取り除き乾燥、選別作業をしています。
※商品代の一部は、環境に優しい自然エネルギーの太陽光発電パネルを、東アジアの村々に設置するために使われます。

(豆) 200g 820.80円(本体価格760円) 9372 月1回
(粉) 200g 820.80円(本体価格760円) 9373 月1回

●釜炒り矢部茶 (農薬不使用)
矢部町の通潤農園で栽培された茶葉を使用。
100g 583.20円(本体価格540円) 9354 月1回

●国産紅茶 (農薬不使用)
水俣の山間地で無農薬栽培された緑茶用茶葉を使用。
80g 486.00円(本体価格450円) 9355 月1回

●完熟トマトジュース
阿蘇一の宮産のトマト「桃太郎」を原料に、1本に約12個を使用。
1リットル 820.80円(本体価格760円) 9359 月1回

●しょうゆの実
阿蘇一の宮産の大豆と生姜などで作りました。そのまま食することができるもろみです。
230g 529.20円(本体価格490円) 9358 スポット

●こいくちしょうゆ
旨み成分たっぷりの本醸造醤油。ブラジル産nonGMO脱脂加工大豆使用。
1.8リットル 583.20円(本体価格540円) 9362 月1回

●なたね油
国産(一部オーストラリア産)の種子を圧搾法で搾り、湯洗いのみで精製。
1.65kg 1009.80円(本体価格935円) 9363 月1回

●ブルーベリージャム
蘇陽高原産の完熟ブルーベリーを使用。
180g 486.00円(本体価格450円) 9353 月1回

●支援コーヒー(豆) ●支援コーヒー(粉)
ブラジルのジャカランタ農園でつくられた有機栽培コーヒー。チェルノブイリ原発事故による病気で苦しむ子どもたちへの救済カンパ100円が含まれています。

(豆) 200g 853.20円(本体価格790円) 9360 月1回
(粉) 200g 853.20円(本体価格790円) 9361 月1回

お知らせ ●たかなめしのぐ ●黒大豆入り味みそ メーカー事情により企画休止中です。

編集者だより

広報スタッフになって早1年。もともと人見知りな性格なので、取材に行くたびに心臓がドキドキバクバク。仕事には慣れても、「初対面」には慣れません。

それでもこの1年を改めて振り返ると、どれだけたくさんの笑顔に私は出会い、元気をもらってきたことでしょう！そんな笑顔と元気を届けられる誌面づくりを、これからも目指していきたいと思います。

(渡辺)

もしもし電話コーナー

お金の問題で困っていませんか？
まずはお電話下さい
生活再生相談室
☎096-243-2100
開設曜日…月曜～金曜 第3週は月曜～土曜
開設時間…9時30分～18時

ふくし情報でんわ
フリーダイヤル 0120-540-294
開設曜日…月曜～金曜(祝日は休み)
開設時間…10時～16時
携帯電話の方は 096-337-7226

グリーンコープ葬祭サービス
24時間受付・年中無休
フリーダイヤル 0120-222-782
「自然庵」との共同事業です。葬儀だけではなく、相続問題やお墓、供養、法事についての相談なども受け付けています。

GREEN くらしアップ情報誌「くまもと」
フリーダイヤル 0120-51-8141
住宅リフォーム、エアコンクリーニング、引越しなどについてはお気軽にご連絡ください。

発行 グリーンコープ生活協同組合くまもと

発行責任／理事会
編 集／広報室
発行所／〒860-0056
熊本市西区新土河原2丁目1-1
☎ 096-324-8118㈹
FAX 096-324-8123
印刷所／ホープ印刷㈱

■県北地域本部	12,815名
■県央東地域本部	25,241名
■県央西地域本部	16,259名
■県南地域本部	7,060名
合 計	61,375名

(8月20日現在店舗組合員を含む)

グリーンコープくまもとのホームページ（http://greencoop-kumamoto.jp/）に最新情報更新中！
是非アクセスしてください。携帯電話は、こちらのQRコードよりアクセスできます。➡